

事故の状況

カーティガンを石油系ドライクリーニングしたら、パイピング部の合成皮革が硬化したの。組成と絵表示は、コレよ。

本体 毛 100%
パイピング部 合成皮革



中国製



シルクちゃん



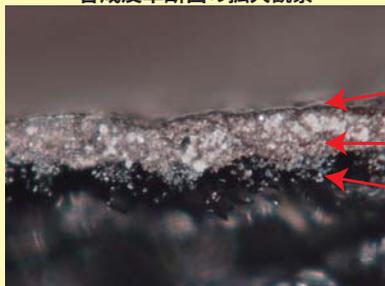
ボーケンくん

ボクに任せて！ 原因を調べてみるケン！

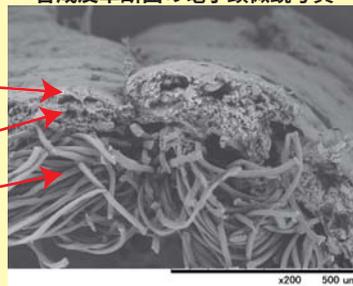
STEP 1

拡大観察・電子顕微鏡写真で観察してみよう！

合成皮革断面の拡大観察



合成皮革断面の電子顕微鏡写真



コーティング表層部分

コーティング内層部分

基布

表面コーティング部は2層になっている。

コーティングの状況が見えるケン！

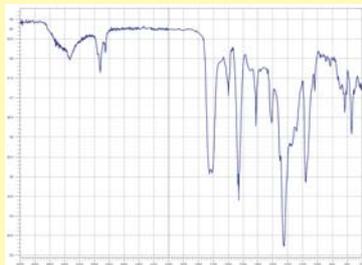


STEP 2

コーティングの素材鑑別をしてみよう！

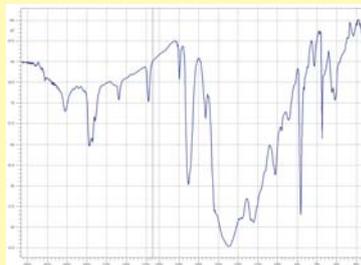


コーティング表層部分



ポリウレタンと推定される

コーティング内層部分



ポリ塩化ビニルと推定される

表層部分：赤外分光分析ATR法による。
内層部分：テトラヒドロフランで溶解後、
赤外分光分析フィルム法による。

表層部分と内層部分の
素材をみてるケン！



原因は…

合成皮革のポリ塩化ビニル層に含まれる可塑剤がドライクリーニング溶剤に溶け出したために硬化した。

防止するには…

- ・ポリ塩化ビニルコーティングされた合成皮革は使用しない。
- ・クリーニングの可否を事前にテストして適切な絵表示を付ける。
- ・ポリ塩化ビニルでコーティングされた製品は、ドライクリーニングではなく、水洗い表示を選択する（石油系ドライクリーニング^{（注）}も不可とする）。
あるいは、水洗い・ドライクリーニング処理とも不可^{（注）}として、「汚れがついた場合は、薄めた中性洗剤や水を含ませて絞った布で拭き取って下さい」などと付記する。



なんでかな？



コーティングについて

合成皮革の中には、コーティング表層がポリウレタンで、内層がポリ塩化ビニルで製造されたものが海外製品にみられる。これは、厚みや耐久性を持たせるためにポリ塩化ビニルを使用し、表面感を良くするために、表面にポリウレタンをコーティングすると言われている。



事故品写真



パイピング



ドライクリーニングで
硬化しちゃったの！

